

科目	デザイン工学 (Design Engineering)		
担当教員	高木 恭子		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	土木と共に環境を形成する方法である建築と関連する部分での、空間デザインを人間工学を中心に様々な角度から検討を行い、基本的な課題を体験することにより、総合的な環境プランナーとして必要となる空間デザインへの興味と基礎的素養を養うことを目的とする。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-1】環境問題として空間デザインを捉え、空間デザインのための表現法を理解し、これからの地球環境に空間デザインの視点から提案・説明・討議できる。		課題のプレゼンテーション内容および、討議より評価する
2	【A4-1】空間を構成するエレメントを理解し、空間のデザインについて理解できる。		授業態度および、空間を測定するレポートや課題に対するコンセプトの組み立て方より評価する
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	課題のプレゼンテーション（60%）、プレゼンテーション時のコメント作成（10%）到達目標2のレポート（20%）、学習態度（10%）で総合評価する。		
テキスト	なし（プリント）		
参考書	空間デザインの原点、岡田光正（理工学社） かたちのデータファイル、高橋研究室編（彰国社）		
関連科目			
履修上の注意事項	実技体験を通して基礎的素養を養うので自主的な授業態度が望まれる。		

